

## 医療介護施設における最近の犯罪の発生について

最近医療介護施設に於ける不祥事、というより犯罪、が発生しております。

7月26日、相模原市の神奈川県立津久井やまゆり園において、元職員が46人を殺傷しそのうち19人が死亡してしまった事件。

そして9月20日横浜市の医療法人大口病院で点滴中に異物を入れられて1名が死亡した事件。ジアミトールという消毒剤の一種が点滴内に故意に入れられたと言うことで、死亡数もさらに増えそうな様子です。いずれも悲惨と言うだけでは片づけられない深いものを感じます。さらに10月1日には三重県の特養ホームで職員が虐待をしてしかも家族が隠しカメラを設置して分かったということです。リスクマネジメントとしては情けない話です。

当職員の誰もが別世界のことだと思っています。私もそう思っております。しかし、今は予想だにしないことが実際に起こりうる時代です。

先日も全老健から委託されたリスクマネジメント研修を当館で開かせて頂きました。県内の施設から来て頂いたり、今回は埼玉県からも1名来て頂きました。

私達は予想だにできないことが起こっても最大限それに対応出来るような体勢を備えるよう常に日々前進していかなければなりません。それは一人であるいは一部のスタッフだけで出来るものでは有りません。みんなで対応すべきリスク管理の問題です。

そのためには、スタッフ全員が主体的に業務に係わり、話合いの3原則：

- ①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞く。
- ②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で！
- ③正解は一つではないことを自覚して自制する。

を忘れず守り、老健の特色である多職種協働で、互いに手を出し合いながら、自信を持って介護という業務に当たることで、この目的は達成できるものと思います。

何事も「他山の石」です。「反面教師」とも「人の振り見て我が振り直せ」ともいいます。互いにリードし合うつもりで、前向きに業務に当たりましょう。

### 老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

### 一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。

私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。

私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。

